# 若生会会報

令和元年 12 月 1 日発行 秋田県立衛生看護学院看護科同窓会

### 1. 会長挨拶

「ホームページへ移行」

若生会会長 高橋スミ (旧3-9)

令和元年になり「若生会会報」は、ホームページへ移行となりました。

秋田県立衛生看護学院看護科同窓会若生会は、昭和 36 年 9 月 9 日設立し、58 年間の歴史となりました。会員数 3500 名を超えております。大先輩の方々の設立した思いは、図りしれないです。そして、この歴史を継続していく我々後輩も、頑張っています。

看護科同窓会は、旧3年課程( $1\sim12$ 期)、2年課程 2部( $1\sim11$ 部)、2年課程 1部( $1\sim43$ 期)、新3年課程( $1\sim$ 今年 39 期入学)となっていました。秋田市から横手市に移転し、10年過ぎ、新3年課程だけになっております。若生会の役員には、新3年課程の方も活動されており、歴史と同時に、人とのつながり、一つの課程だけでなく、それを越えて、先輩後輩のつながりがみえます。

私ごと、70 才過ぎ頃より、身のまわりの整理整頓一終活を考えています。今年8月初め、同級生が亡くなり、より一層強く考えるようになりました。旧3-9期生は、毎年、クラス会を開催しております。"自分の今の状態を、どう伝えるか。" "友とどのように別れをするのか。" "去る自分だけでなく、残った友をどう考えるか。" 課題が増えました。

この原稿を書きあげるために、"会員名簿"や"若生会 50 周年記念誌"を開き、学院生活を回顧する一時でした。

## 2. 学院長挨拶

秋田県立衛生看護学院 学院長 伊藤 仁志

若生会の皆様には、日頃より母校に対し、多大なる御支援と御協力を賜り深く感謝申し上げます。

「お祝いの盛り花」や「励ましのお言葉」、そして、環境美化事業としてたくさんのプランターの花をいただいておりますことに、教職員並びに在校生一同感謝いたしております。

また、皆様の多くが学院での学びの成果を如何なく発揮され、県内外の医療・保健・福祉など多方面でめざましい活躍されていることは、現在、学院に携わる教職員並びに学生たちの誇りとするところであります。

御承知のように、今日、我が国では急激な少子・高齢社会の進行や医療の高度化に伴い、患者の立場に立った質の高い看護の提供や、看護技能の向上など、看護師に求められる役割も大きく変化しております。

こうした中、学院といたしましても、社会の変化にも柔軟に対応できる看護職員を養成すべく努力しているところです。

幸いにも、この春の看護科卒業生は、全員国家試験に合格しました。

現役合格 100%は 14 年連続であり、全国的にも類を見ないのではないかと存じております。

目標に向かって全力で取り組んだ学生たちの努力や教職員の厳しくも暖かな指導は無論のことですが、 卒業生の皆様が積み重ねてきた、確かな歴史の重みというものもプラスに働いた結果ではないかと存じ ております。

時代は平成から令和へ。在校生たちも、60年を超える学院の歴史の流れに身を置きながら、新たな1ページを刻もうと、日々励んでいる様子です。

若生会の会員の皆様には、引き続きのお力添えをお願い申し上げますとともに、益々の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

# 平成31年度 若生会収支予算書(案)

自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日

収入の部

科目	前年度予算額	本年度予算額	差引増減額	適用
会費	400,000	428,000		令和元年度卒業生会費 8000円×41名=328,000円 一般会費 1000円×100人=100,000円
寄付金	0	0]	0	一般会員から期限、金額の 制限なく受付
繰越金	1,215,255	747,523	<b>4</b> 67,732	前年度繰越金
雑収入	0	0	0	銀行利子等
合計	1,615,255	1,175,523	<b>4</b> 39,732	

支出の部

文出の部					
	科目	前年度予算額	本年度予算額	差引増減額	適用
置	理費(1)	240,000	240,000	0	
内訳	会議費	100,000	100,000	0	役員会·理事会·編集委員会 開催費用
	事務費	100,000	100,000	0	消耗品、通信費、交通費
	慶弔費	30,000	30,000	0	弔電代
	備品費	10,000	10,000	0	
事	工業費 ②	560,000	510,000	▲ 50,000	
内訳	会報発行	350,000	0	▲ 350,000	会報はH31年度より廃止
	ホームページ 維持費	0	300,000	300,000	ホームページ管理費
	祝賀花贈呈	50,000	50,000	0	入学式、戴帽式、卒業式
	卒業生記念品	80,000	80,000	0	41名分の印鑑
	母校への協力 (環境美化)	80,000	80,000	0	花の苗、手入れ作業代
準	準備金 ③	600,000	200,000	<b>4</b> 400,000	第23回 総会準備金
3	·備費 ④	215,255	225,523	10,268	
1)+2+3	3)+(4))	1,615,255	1,175,523	<b>▲</b> 439,732	

## 平成30年度 若生会収支決算書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

収入の部

収入の部				
科目	予算額	決算額	差引増減額	適用
会費	400,000	472,000	72,000	平成30年度卒業生会費8000円×33名 =264、000円 一般会費1000円×208名=208,000円
寄付金	. 0	41,000	41,000	
繰越金	1,215,255	1,215,255	0	前年度繰越金
雑収入	0	5	5	銀行利息
合計	1,615,255	1,728,260	113,005	

支出の部

	文田の部					
科目		予算額	決算額	差引増減額	適用	
8	管理費	240,000	126,975	113,025		
内訳	会議費	100,000	49,193	50,807	役員会·編集委員会開催費用	
	事務費	100,000	77,782	22,218	消耗品費、通信費、交通費	
	慶弔費	30,000	0	30,000	弔電代	
	備品費	10,000	0	10,000		
事業費		560,000	328,730	231,270	i i	
内訳	会報発行	350,000	154,930	195,070	会報印刷費、封筒、送料	
	祝賀花贈呈	50,000	45,000	5,000		
	卒業生記念品	80,000	52,800	27,200	37名分の印鑑	
	母校への協力 (環境美化)	80,000	76,000	4,000	花の苗、手入れ作業代	
総	会準備金	600,000	525,032	74,968	第22回総会準備金	
予備費		215,255	0	215,255		
合計		1,615,255	980,737	634,518		

総収入額 1,728,260 円 一 総支出額 980,737 円 = 差引残高 747,523 円 (次年度へ繰越)

平成31年4月1日

会計監査の結果、金銭出納帳及び領収書、預金通帳等適正に処理されている 事を認めます。

会計監查 仁藤美穂

(E)

会計監査 人灸藤かとみ



#### 秋田県立衛生看護学院若生会 平成 30 年度理事会

日時: 令和元年5月11日(土)午前10時30分から

場所:わいわいプラザ研修室1

出席者役員:6名及び理事:5名

#### 1、案件 (議案 1~5 について協議後承認済み)

#### 議案 1、平成 30 年度会務報告

理事会開催理事8名出席。総会開催平成30年6月23日(土)39名出席内22名一般会員、ユーホー 仮面による演奏。母校環境美化、祝賀花贈呈、第31号会報発行(12月9日発送)、12月ホームページ開設令和元年5月10日現在236名ホームページ閲覧数。卒業生への同窓会入会説明・記念品贈呈 (印鑑33名)、役員会及び編集委員会の開催。

#### 議案 2、平成 30 年度決算報告並びに監査報告

Q: 寄付の人数は?

A:30年度は10名寄付者あり。

Q: 印鑑送った人数は37名とあるが卒業生は33名?

A:33名です。金額はそのままです。

議案 3、令和元年度事業計画(案)

議案 4、令和元年度予算(案)

Q:郵送でほしい人の郵送費はどこから?

A:現在2名の郵送希望あり。事務費の中の通信費や予備費から出す。

#### 議案5、ホームページについて

ホームページ掲載内容の確認 (若生会活動内容・会則・卒業年一覧・役員名簿) ホームページと編集委員について、現編集委員がそのまま残りホームページに掲載に携わってもらう。

Q:会則に会報の発行とあるので、別の文言を入れないといけないのでは。役員だけでホームページを やっていくのは負担が大きいので編集委員に協力してもらう必要性あり。会則には編集委員について触れ られていない。

役員と理事で協議:「第3条3・会報の発行(ホームページ)」に改正する。

「第5条会計と理事の間に5.編集委員6名追加し」。

「第8条5に編集委員は会報発行を司る」を追加する。

附則に令和元年5月11日より改正

#### 2、その他 事務手続きの合理について

会費納入後の名簿照合や住所変更作業を行っているが個人情報を扱う作業のため個人の負担が 非常に大きい。郵送事業がなくなるのに合わせ、名簿取り扱い業務を簡略化したい。会費納入は振込 用紙で金額・人数を把握し保管し会計に反映していきたい。

理事と役員で協議:厳密な名簿管理は不可能。そもそも一般会費をなくす方向で行きたいので厳密 な名簿管理は不要ではないか。

名簿取り扱い業務の簡略化について承認得られる。

## 学院の行事・活動の様子

## ★令和元年度 戴灯式

今年度から、名称が「戴帽式」から「戴灯式」へ変わりました。













## ~編集後記~

若生会会報は、今年度ホームページへと移行になりました。 ホームページと形は変わりましたが、今まで築いてきた伝統を受け継ぎつつ、学院がさらに発展していくことを、役員一同願っております。